



自分たち“らしさ”を知る、つくる、伝える。

45周年を迎え、法人や各施設の歴史を振り返るとともに、改めて自法人の「強み」「特徴」について再認識する契機となりました。

これらをより効果的に発信し、幅広い方々に対して当法人への理解や信頼を得ることで法人価値を高める【KSJブランディング事業】を始動しています。

知る 既存の取組みへの理解を深め、第三者の視点も交えつつ**魅力を再発見**

つくる 法人内外との連携を進め、**新規の取組みにもチャレンジ**

伝える 創造、再発見した魅力を適切に、**広く伝えるよう言語化**

自分たち“らしさ”を多角的に発掘・発信することで、今後もより一層、当法人の独自性を活かした情報発信・サービス提供に努めてまいります。



KSJ だからできること。

KSJ でしかできないこと。

1

府立施設を 運営する責任

指定管理として府立施設の
運営管理を代行する**責任**
府民の安心・安全・信頼を守る**責任**

2

社会の セーフティネット

救護施設や児童養護施設など、
社会における
セーフティネットとしての役割

3

“総合” 社会福祉法人

様々な種別の施設を**一括運営**
複雑に絡み合った課題にも
多様な支援で対応

社会を包摂する社会福祉法人

KSJ 社会福祉セミナー

府民や関係者に向けた社会保障制度の理解促進



講師：鈴木 俊彦 氏

元厚生労働省事務次官
日本赤十字社副社長
東京大学公共政策大学院客員教授

11月20日(日)「KSJ 社会福祉セミナー」を開催しました！
講師には、元厚生労働省事務次官・日本赤十字社副社長である鈴木俊彦氏にお越しいただき、「社会保障の展望～2040年を見据えて～」をテーマに、日本が抱える人口や財源問題、地域共生社会の実現の必要性等、豊富なデータを交えながら、2040年の新たな社会保障について、ご講話いただきました。
当日は福祉や行政に携わる関係者様をはじめ、法人職員・内定者等、総勢81名の方にご参加いただき、2040年時代の社会のあり方について、さまざまな立場から理解を深める時間となりました。



豊富なデータを用いて紹介！

▶ 今後も新たなチャレンジを目指して

展示会、写真展、発表会の開催、利用者制作物のプロダクト化 etc...



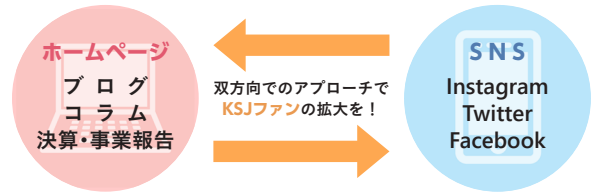
福祉の魅力発信

効果的・積極的な情報発信

▶ 魅力発信チームを創設して KSJ ファンを拡大 - 誰もが発信できるツールに -

ホームページや SNS (Instagram、Twitter) と情報発信のツールが多様化しているからこそ、人材確保や事業への理解促進等、それぞれの目的に合わせて情報発信を行っています。

今年度からは、各施設で「魅力発信チーム」を創設し、情報発信ツールの整理や SNS の効果的な活用方法について勉強会を行いました。勉強会後は動画やストーリー等、今まで以上に工夫を凝らした記事がアップされており、伝え方や内容の幅がさらに広がりました！



動画やストーリーも！



Instagram 施設ブログ更新中！

採用情報や日常風景を更新中！

桃山学園



- # 世界的ソプラノ歌手田中彩子氏が来訪
- # こども達の飾り付けと歌でお出迎え
- # 素敵な歌声で非日常の体験

洛南寮



- # 福祉留学の受入先として参画
- # 地域で暮らしながらのインターン
- # 利用者さんや職員インタビューを通じて魅力を再発見

心身障害者福祉センター



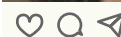
- # 京都とっておきの芸術祭に出展
- # 個性豊かな作品たち

洛南寮



- # 洛南寮まつり
- # 美味しいスイーツと景品にっこり

こども発達支援センター



- # お芋ほりに挑戦
- # 自分で収穫した野菜にわくわく



利用者満足度の向上

中期運営計画の実現に向けて - 報告 -

個々の自立度に応じた

洛南寮式「自立支援プログラム」 ▶ 洛南寮

利用者の施設内生活の充実や、地域移行支援に繋げる生活訓練の取組みについて、段階的なプログラムを実施しています。今後は地域の生活困窮者への支援も見据えています。



家庭的環境での個別支援に向けた「小規模グループケア」の導入 ▶ 桃山学園



障害児入所施設では、個々の障害特性に応じた小規模なグループで療育や心理的ケアを行うことで、きめ細やかな個別支援を行えるよう、小規模グループケアを開始しました。

女子フロアから開始し、令和5年度には全フロアのグループケア移行に向けて、体制整備を進めています。

ICT化によるサービス向上と業務効率の両立 ▶ 洛南寮

導入前の課題

- ❗ 敷地内が広く、構造も複雑で見通しが悪い
- ❗ 利用者数が多く、タイムリーな情報共有が求められる

新たな介護システム「ケアカルテ」と音声入力ソフト「ハナスト」(インカム)を導入しました。

インカムを利用し、職員間での情報共有が同時に行えるとともに、音声のみで介護ソフトへの記録ができるなど、より効率的で効果的な支援を目指して導入いたしました。



CareWiz ハナスト



ケアカルテ CARE KARTE

安全で快適な移動・移乗 ▶ 心身障害者福祉センター

導入前の課題

- ❗ 重度の身体障害の方が多い
- ❗ 身体障害の程度や、可動域は個人差があり、汎用性のある1つの機器では対応しにくい



最新型の床走行型リフト「モーリフト」を2台更新しました。

本機を使用することで、2名で行うベッドから車椅子への移動介助が一人でも可能になります。

最新型に更新したことで、さらに安全性が高まりました。現在も、別のシーンで対応すべく、新たな機器の試行中であり、引き続き、積極的に導入していきます。

職員の声

- 介護負担が軽減した
- 従来の機器よりスムーズで安全な移乗が可能になった。





KSJ × 地域

▶ 地域における公益的な取組みの推進



■ 地域の小中学校にて車椅子体験授業
心身障害者福祉センター

南城陽中学校他、地域の小中学校へ訪問し、車椅子操作の講習や体験実習指導を行いました。



■ 「出前講座」開講
附属リハビリテーション病院

骨粗鬆症や体操、パラスポーツについての講演、医療スタッフによる骨密度測定も実施しました。



■ 「あん摩奉仕」で
地域の方へ日頃の感謝を
視力障害者福祉センター

地域の皆様へ感謝を込めてあん摩施術の無償奉仕を行いました。初めての方、毎年常連の方多くの方々にお越しいただきました。

KSJ × 大学



■ 京都女子大学リカレント教育課程
心身障害者福祉センター / 発達障害者支援センター

施設見学や、発達障害に関する講義を行い、福祉への理解促進や働き方のイメージづくりに繋がるプログラムを実施しました。

KSJ × 企業



■ ミツフジ スマートウォッチ
開発協力

自分自身の健康や幸せを客観的に可視化できる新しい健康指標の構築に職員がモニターとなり協力しました。



■ 中小企業家同友会
「社会的養護について学ぶ研修会」
桃山学園

児童の職場体験における職業理解や自己肯定感の向上等、地域企業と児童養護施設との交流の大切さについて報告しました。

KSJ × KSJ

▶ 法人内における各施設の連携



■ 通園児の保護者に向けたブラッシング指導
附属リハビリテーション病院 × 子ども発達支援センター

附属リハビリテーション病院の歯科衛生士が子ども発達支援センターの通園児保護者に向けてブラッシング指導を行いました。口腔ケアについて学んでいただき、衛生指導にも繋がりました。



■ 東洋医学による女性のためのセルフケア
東山母子生活支援施設 × 視力障害者福祉センター

視力障害者福祉センターの東洋医学知識や技術を活かし、肩こりのほぐし方やツボの押し方等、女性のためのセルフケア方法について学びました。



人材確保・育成

“総合”社会福祉法人として、マルチでスペシャルなプレーヤーを育成できる組織づくり



人材確保 ▶ 京都移住計画への掲載

新しいターゲットの求職者へのアプローチ

これから京都で働きたいという求職者の方に向けたアプローチとして、京都への移住に係るサポートをされている「京都移住計画」のサイトに掲載を開始しました。

「様々な分野の府立施設を運営し、“京都のセーフティネット”の役割を担いながら、今後も広く京都府民の方に信頼をしてもらえるような法人でありたい」という想いを、役職者、広報担当者、現場職員それぞれの立場から語ることで、改めて自法人の魅力を言語化する貴重な機会となりました。



インタビュー記事はこちら

人材定着 ▶ 新規採用職員フォローアップ研修



新任層（1～2年目の職員）を対象に、フォローアップ研修を実施しました。

入社時からを振り返り、新任層として求められるスキルをクイズやグループワークを交えて学ぶとともに、同期職員同士で悩みや目標を共有する機会としました。



＼新採職員の声／

グループディスカッションを通して、現在の仕事に対する想いや悩みを声に出して共有できたことがよかった。



自施設の良いところを再確認でき、初心に帰って改めて頑張ろうと思った。



入社時からを振り返って、どれくらい自分が成長できたのか、何が課題なのかを確認することができた。



内定者フォロー

▶ 内定者プログラム



▶ 内定者懇談会



令和5年度入職予定の内定者の方を対象に、内定者懇談会を開催しました。

2日間に分け、計15名の内定者の方に参加いただき、現場職員とのオンライン中継も交えて入職後のイメージを膨らませる時間となりました。

▶ 施設見学ツアー



配属の可能性がある施設を訪問する施設見学ツアーを開催しました。

より実際の業務をイメージしてもらいやすいよう、支援員とセラピストで職種ごとにコースを分けつつ、一部体験メニューも盛り込みました。現場職員や、利用者さんとのふれあいを通じて、施設の雰囲気や業務についても肌で感じてもらう貴重な機会となりました。

＼内定者の声／

職員の方や利用者さんとの関わりで明るい職場・施設の雰囲気が感じられた。



あまり知らない分野の施設もあり不安だったが、未経験でも活躍している先輩職員の話や、体験を通して働くイメージに繋がった。



施設によって取組みはさまざまだが、どの施設も職員の方が温かく、相談しやすいような雰囲気があって安心した。



職員も準備万端でお出迎え！自施設の魅力やリアルな声をお伝えしました！

きょうと福祉人材育成認証制度「上位認証」更新決定！(R5～R9年まで)

評価された点



職員の意見を聞きながらボトムアップ式にPDCAサイクルを回している。



人材定着へのフォローが手厚く、**離職率が低い**。
正規職員の離職率：8.2%
新卒入職者の
1年以内の離職率：0% (R3年度)

重点取組事項



有給休暇取得率の更なる向上
(目標：50%以上)



専門資格の取得促進に向けた
資格取得奨励制度の充実



審査時のプレゼンの様子



働きやすい職場づくり

イクメン宣言

目標

男性の育児休業等の取得をはじめ、男性が積極的に子育てに関われる職場環境づくり



長女の出産に伴い、2か月の育児休業をいただきました。長期間の育児休業を取るにあたって不安もありましたが、渋い顔せずに後押ししてくださった職場に感謝しています。おかげで、妻には授乳に専念してもらうことで、夜間まとまった睡眠を取ってもらえています。妻からも「休んでくれてなかったら産後鬱になっていたかも。助かった。」との言葉をもらい、妻と娘、2人とじっくり向き合える時間をいただき感謝しています。

心身障害者福祉センター 生活支援員 上村 真弘

子育て環境日本一に向けた
職場づくり行動宣言



子育て制度における、職員への制度理解促進のために「**子育て応援ハンドブック**」を作成しています。令和4年10月からの制度改正を踏まえ、更なる育児休業取得促進に向けて充実させました。

行動計画

- ▶ 希望する男性職員の**育児休業取得率100%**
- ▶ 子の出生直後における男性の柔軟な**育児休業の仕組みの創設**
- ▶ 男性職員が子育てに積極的に関われるよう「**イクメンのススメ**」(冊子)を作成
- ▶ 管理職の「**イクボス宣言**」を行います。

働きやすい職場づくり



京都障害者ワークフェア「**京都はあとふる企業**」に認証されました！



障害のある方を積極的に雇用している企業として「**京都はあとふる企業(障害者雇用推進企業)**」に認証され、「京都障害者ワークフェア」において表彰いただきました！

引き続き、法人内でも誰もが働きやすい職場づくりを目指すとともに、障害者雇用に向けた理解・促進に努めてまいります。

働きやすい環境整備への工夫

- バリアフリーや防護マットの整備
- 歩行ルールの整備
- IT機器・音声読み上げソフトの整備
- 日常業務のサポートを行うアシスタント職員の配置

こんな職員が活躍しています！

- ▶ スポーツ経験を活かした**障害者スポーツの指導員**
- ▶ あはき師
(あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師)
養成施設の教員



【各種表彰 長期勤続おめでとございます！】

全社協表彰 受賞 洛南寮 救護課 技術次長 瀬尾 享弘



振り返るといろいろな利用者さんとのやりとりが思い出されます。これまでたくさんの方々の支えがあり、長年続けることができたため、今回このような表彰いただくことが光栄であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

全社協表彰
(社会福祉施設功労)

社会福祉施設に25年以上勤務

1名

知事表彰

(社会福祉事業・ボランティア功労者)

社会福祉施設に15年以上勤務

2名

全社協表彰
(社会福祉施設永年)

同一法人に勤続30年以上勤務

4名

府社協表彰

(社会福祉事業特別功労者)

社会福祉事業の従事者として15年以上勤務

6名

全事協表彰
(永年勤続)

事業団職員として20年以上勤務

3名

京都市介護職員等永年勤続表彰

(京都市内にて) 介護職員として同一法人に10年以上勤務

2名

SNS案内

Instagram



Twitter



YouTube



Facebook

